

歴史と出会うまちづくり船場城西の会 第217回定例会

■代表挨拶

■活動経過等報告

・NPO事業報告

7月初旬に県の担当課に報告書を提出した。内容については別紙回覧の通り。

・かわら版第65号送付 7/14(木)

歴史講座の案内とともに会員ならびに協力者、関係行政機関、県知事、地域選出国會議員等40名に送付した。

・歴史講座 藤原龍雄「第7代藩主酒井忠頭（顕徳院）最後の帰城-忠頭の急死と暗転する姫路藩-」 7/17(日)

参加費500円26名の一般参加、9名のスタッフ。船場御坊への会場使用御礼は前回同様3千円としたい(未払)。

・町名由来板(元町、小性町)修繕完了

元町については琴平神社へ移設した。代金の振込は本日8/26に行った。

■今後の予定その他

・船場御坊楽市 9/4(日)、まちあるき 10/23(日)

歴史と出会うまちづくり船場城西の会 2022.6.24 第216回定例会議事録 於 西新町スペースラボ 19:30～20:45

出席者 柴田武志 中山栄一郎 下山裕史 原隆 橋本博和 久保剛

挨拶 柴田代表 熱いので体に気をつけて

進行 下山事務局

まちあるき「酒井忠頭（顕徳院）城下巡検コースを歩く」（5/29・日）を振り返り

当日は天気が良く、参加者が69名で盛況だったが、後日、下山事務局に参加者1名から様々な苦言や提案を頂いた。今後の運営に生かせるようにスタッフにおいて共有する。

船場小学校まちあるき（6/2・木、6/3・金）を振り返り

2クラス40人・39人を2日間で柴田代表、森川が同行案内した。御坊本堂、行在所、ナガハマ時計店、砂川漆工芸、橋屋、原田光明堂を回り、校外学習の世話をした。

第80回船場御坊楽市（6/5・日）を振り返り

まずまずの天気で、出店は20軒、客数は開催規模に見合う人数で、のんびりした雰囲気になった。船場御坊幼稚園に告知した効果で多くの園児、保護者が訪れ、紙芝居やかき氷が人気だった。ミニコンサートの終わり頃に近隣から事務局に苦情の電話があった。事務局からコンサート担当に伝える。出店者を30軒にすることを目標にする。御坊幼稚園の育友会ハザ-の出店を中塚副園長に打診する。

町名由来板修繕について

小性町、元町の文字板更新を業者に見積依頼、材料費高騰のため費用が高くなるが依頼した。

歴史講座開催（7/17・日）について

開催要領は前回と同様、参加費は500円、12:45集合、事務局が受付、中山がスクリーン、プロジェクターを準備する。講師用のお茶、紙コップを用意する。リビング 姫路、神戸新聞へ告知記事を依頼する。

今後の予定

秋のまちあるきは10月23日（日）に変更する。テーマは播磨風土記、姫路駅 9:15 集合、9:30 出発。

■次回定例会 9/23 が祝日のため 9/30(金)19:30NSL 予定■

